

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# Dose-Adjusted EPOCH【20%増量】 +【BS】Rituximab 療法

## 3 週毎 コース予定

### 疾患名 悪性リンパ腫

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5	day6
リツキシマブ BS	375 mg/m <sup>2</sup>	↓					
ドキシソルビシン	12 mg/m <sup>2</sup>						
オンコビン(ピンクリスチン)	0.4 mg/m <sup>2</sup> (最高 0.5 mg)		→	→	→	→	
エトポシド	60 mg/m <sup>2</sup>						
エンドキサン(シクロホスファミド)	900 mg/m <sup>2</sup>						↓
プレドニン(プレドニゾン)	60 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓	

- 【注意】
- \* リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと
  - \* ドキシソルビシンの総投与量は 500 mg/m<sup>2</sup> を超えないこと
  - \* 1 コース目の EPOCH 療法後に好中球数最低値 ≥ 500/mL かつ血小板数最低値 ≥ 2.5 万/mL の場合は、2 コース目よりドキシソルビシン、エトポシド、シクロホスファミドの投与量を 20% 増量する。
  - \* エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100 mg を輸液 250 mL 以上で溶解(濃度 0.4 mg/mL 以下の濃度になるように)し、30~60 分で点滴静注するのが望ましい。また、DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 \* 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100 mg) \_\_\_\_\_ 錠 デザレックス(5 mg) \_\_\_\_\_ 錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量(10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

\* 注: 総量 600 mL を超える時はテルモ生食 1L を使用

Dose-Adjusted EPOCH【20%増量】+【BS】Rituximab 療法

- ④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
- ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

【2 回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg) \_\_\_\_\_ 錠 デザレックス(5 mg) \_\_\_\_\_ 錠 内服

☆30 分後より

- ② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブ BS + 生食 適量(10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

\*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

Dose-Adjusted EPOCH【20%増量】+【BS】Rituximab 療法

④ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑤ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

⑥ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

day 2 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C を内服

① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包

内服

② 生食 500 mL で血管確保

維持(20 mL/時間)

③ ドキソルビシン + オンコビン + エトポシド + 生食 500 mL  
持続点滴 24 時間(20 mL/時間)

day 3 - 5 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包

内服

② 生食 500 mL で血管確保

維持(20 mL/時間)

③ ドキソルビシン + オンコビン + エトポシド + 生食 500 mL  
持続点滴 24 時間(20 mL/時間)

day 6 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包

内服

② 生食 100 mL で血管確保

維持(20 mL/時間)

③ エンドキサン + 生食 100 mL 点滴静注 30 分(200 mL/時間)

◎ 血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下 30 分で点滴静注

day 2~6 プレドニン 内服

Dose-Adjusted EPOCH【20%増量】+【BS】Rituximab 療法

	コース目					
	day1	day2	day3	day4	day5	day6
月日	/	/	/	/	/	
リツキシマブ BS 開始時刻	↓					
ドキシソルピシン オンコピン エトポシド 開始時刻		→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻						↓
確認						

	コース目					
	day1	day2	day3	day4	day5	day6
月日	/	/	/	/	/	
リツキシマブ BS 開始時刻	↓					
ドキシソルピシン オンコピン エトポシド 開始時刻		→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻						↓
確認						